

女川原子力発電所 定期検査・主要機器点検情報

No. 3

(平成18年7月分)

号機	2号機	定期検査	第8回定期検査
件名	タービン振動位相角基準検出器の損傷について		
月日	平成18年7月19日(水)	発生	発見 確認
場所	タービン建屋	設備 蒸気タービン	設備区分 それ以外の系統
設備概要	タービン振動位相角基準検出器は、タービンの軸振動位相角を測定するための監視計器です。		
所見	<ul style="list-style-type: none"> タービン開放点検に伴い、タービン振動位相角検出器を取外したところ、センサー先端部が折損していることを発見しました。また、タービンロータに設置している検出用の金具にセンサー先端部が接触したと思われる窪みを発見しました(7月19日)。 ロータ軸受け下部の空間にファイバースコープを挿入して、折損した部品について、ほぼ全体が回収できたことを確認しました(7月28日)。 当該検出器は、タービン振動が大きい場合のバランス調整時に使用するものとして設置していますが、定検中のタービン振動測定時には携帯型の振動位相角検出装置を用いており、今年1月の2号機再起動時には使用しておりませんでした。 		
<p>正常品 (1号機)</p> <p>回収部品</p> <p>折損部品</p> <p>検出用金具</p>			